



日中国交正常化 50 周年

## 第7回中日大健康医療オンラインフォーラム(日中国交正常化 50 周年認定事業)

### テーマ：「日中肺癌の現状と治療の進歩」

日程： 2022年10月13日(木)

時間： 19:00～21:30 日本時間 (18:00～20:30 北京時間)

会場： 中国の Web 会議アプリ Tencent VooV Meeting(TVM)によるオンライン会議

URL：<https://meeting.tencent.com/dm/n1gzZCnSsdA5> VOOV 会議室：522-993-279

ご案内ホームページ <https://www.imh.tokyo/?forum>

対象： 日中の医師、看護師、医学生、医療関係者、患者など

参加： 参加費無料 10月7日(金)までに下記事務局担当宛に「参加申込」のメールをお送りください。

国際医療健康交流機構(IMH) 岩崎 博 [h.iwasaki@imh.tokyo](mailto:h.iwasaki@imh.tokyo)

プログラム	概要	
19:00～19:10 司会・通訳紹介	司会 岩崎 博(国際医療健康交流機構 IMH) 通訳 孟 華川(国際医療福祉大学)	
19:10～19:20 趣旨説明 講演		安達 勇 先生 静岡県立静岡がんセンター 参与 公益財団法人日中医学協会 副会長 「日本におけるがん医療の現状」
19:20～20:00 基調講演 1		中島 淳 先生 東京大学医学部附属病院 呼吸器外科 教授 「早期小型原発性肺癌に対する外科治療の進歩： 日本発の治療と診断法のレビュー」
20:00～20:05	協賛企業からのメッセージ	
20:05～20:45 基調講演 2		宋 之乙 先生 中日友好病院 胸部外科 教授 「中国での肺がんの現状と最新治療法」
20:45～21:20	講演者の対話・交流	
21:20～21:30	主催者挨拶 楊 明月(北京華益日盛健康科技有限责任公司 董事長)	

中島 淳 先生

1982年3月 東京大学医学部医学科卒業  
1986年2月 東京大学医学部附属病院 胸部外科 入局  
1992年3月 米国ワシントン大学リサーチフェロー  
1993年3月 東京大学医学部附属病院胸部外科 助手  
1998年3月 同上 講師  
2001年9月 東京大学大学院医学系研究科呼吸器外科学助教授  
2007年4月 東京大学医学部附属病院胸部外科 診療科長(～現在)  
2011年4月 東京大学大学院医学系研究科呼吸器外科学教授(～現在)  
2019年4月 東京大学医学部附属病院 副院長兼任(～現在)  
2020年4月 東京大学医学部附属病院 臓器移植センター長兼任(～現在)

専 門：呼吸器外科学、原発性肺癌・縦隔腫瘍の腫瘍学、肺移植

主な所属学会、役職

日本外科学会 (代議員)

日本胸部外科学会(理事、学術集会会長)

日本呼吸器外科学会(理事)

日本肺癌学会(理事)

日本呼吸器内視鏡学会(理事)

American Association for Thoracic Surgery (AATS) 正会員

Society of Thoracic Surgeons (STS) 正会員

European Association for Cardio-Thoracic Surgery (EACTS)正会員

Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery (ASCVTS) 理事

ご講演 抄録

非小細胞肺癌に対する根治術式は長らく肺葉切除+肺門縦隔リンパ節郭清であったが、小型・早期肺癌に対する積極的縮小手術(区域切除)の有効性が日本発の多施設共同研究によって示され、30年ぶりに肺癌外科手術の常識が変えられようとしている。診断法として、胸腔鏡下に肺癌が疑われる小病変を正確に位置同定し切除する技術が同時に必要であるが、その中で当科が主導した多施設共同研究 (VAL-MAP 法)の有効性が示され、さらに進化を続けている。

## 宋 之乙 先生

1984年 中国医科大学日本語 医学クラス卒業、医学修士取得

1989年 北京協和医学院胸部 外科専攻修士取得

1991年 日本国立国際医療センター胸部外科研修

1999年 金沢大学医学部胸部 外科専門課程博士号取得

1984年 中日友好病院胸部外科主治医、副主任医師（～現在）

北京医学会胸部外科学分会第3回委員会気管学組委員

中国医促進会腫瘍内科分会常務委員

中華医学会北京胸部外科分会外傷学グループ委員

中華医師協会肺癌学組委員

中華医師学会北京分会外科手技学会学組委員

中国研究型病院学会理論革新分会理事

中日医学科学技術交流協会中医薬専門委員会委員

北京健康促進会肺癌診療専門家委員会常務委員

### ご講演 抄録

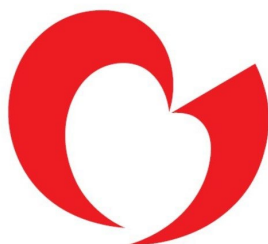
中国で癌の粗罹患率は上昇しつつ、国全体の負担が高まっている。部位別罹患率を罹患順位別にみると、トップは男性が肺がん、女性が乳がんである。農村より都市の方が、罹患率は高い。中国で、従来多発している食道癌、胃癌、肝臓癌などは、減少傾向にあるが、治療費の負担が依然として高い。一方、先進国で多発する結腸直腸癌、乳癌、甲状腺癌、前立腺癌などの発症数は、中国でも増加傾向にあり、予防抑制の対応が厳しい。

中国で癌の粗死亡率も上昇傾向にあるが、人口年齢別構成を見直した後の標準化死亡比は、低下傾向にある。これは、ここ数年の癌対策で一定の成果を収めたことを示している。部位別ガン死亡数を死因順位別にみると、トップは、男性、女性とも肺がんで、死亡率は、農村が都市より高い。中国で、従来多発で予後が悪い食道癌、胃癌、肝臓癌などの死亡率は、年々低下しているが、子宮頸癌死亡率は上昇している。先進国で多発する結腸直腸癌、乳癌、甲状腺癌、前立腺癌などは、中国でも死亡率が高まっている。

ここ十数年、悪性腫瘍の生存率は徐々に向上している。現在、中国の悪性腫瘍の5年相対生存率は約40.5%、10年前と比べて、約10ポイント高まっているが、先進国と比べて、まだ差が大きい。主原因は、早期発見・早期治療できるケースがまだ少なく、また、進行ガンの診療標準化がきちんとできていないことにある。そのため、中国の悪性腫瘍の死亡率を低下させるには、定期検診や早期発見・早期治療の実現範囲の拡大化と、腫瘍診療の標準化・同質化の普及の両方に努力しなければならない。

現状、中国で悪性腫瘍による負担は日増しに重くなり、都市部と農村部の差が大きく、地域的不均一も存在し、また先進国の多発ガンと発展途上国の多発ガンの両方も併存しているため、予防・治療の対応はあまりにも厳しい。

第7回中日大健康医療オンラインフォーラム  
テーマ：「日中肺癌の現状と治療の進歩」



日中国交正常化 50 周年

第7回中日大健康医療オンラインフォーラムは、外務省より日中国交正常化 50 周年事業として認定いただきました。外務省ホームページ「日中国交正常化 50 周年事業カレンダー」に掲載されています。

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/a\\_o/c\\_m1/page22\\_003888.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/c_m1/page22_003888.html)

主催： 日本 一般社団法人国際医療健康交流機構 (IMH)

中国 北京華益日盛健康科技有限責任公司

共催： 中日医学科技交流協会健康メディア分会

華益日盛株式会社

浙江医学科技教育発展中心

Media Support：国家衛健委百姓健康テレビチャンネル、医学論壇网、中軽海外クラウド教室、  
繫康万家、英騰教育

### 【フォーラム紹介】

<https://www.imh.tokyo/?forum>

### 【お問合せ先】

日本 一般社団法人国際医療健康交流機構 (IMH) 岩崎 博 [h.iwasaki@imh.tokyo](mailto:h.iwasaki@imh.tokyo)

中国 北京華益日盛健康科技有限責任公司

牟美璇 [mxmu@huayirisheng.com](mailto:mxmu@huayirisheng.com) 18516525997 (同微信)

### 【参加方法】

#### ■システムについて

VOOV を使用しています。中国で広く使われているシステムです。+  
こちらからダウンロードしてご登録ください。

<https://intl.cloud.tencent.com/jp/product/tvm>

#### ■参加 URL と ID

以下の URL をクリック、あるいは下記の番号を入力願います。

URL : <https://meeting.tencent.com/dm/nlgzZCnSsdA5>

VOOV 会議室 : 522-993-279